

いつも翠ヶ丘野球部の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。とうとう私が書かせていただくVictoryもこれで最後となりました。この1年間は形に残る結果を出せずに申し訳ない気持ちでいっぱいですが、選手一人一人がこの一年で、特に6年生が大きく成長してくれたことは私にとってとても大きな財産となっています。まだ卒団まで少々時間がありますので、監督として新チームが少しでも飛躍できるようにサポートしていく所存でありますので、もう少しだけよろしくお願い致します。

今年は1月7日より部の活動が始動しました。その日に翠ヶ丘神社に行き、それぞれが優勝祈願をしてきました。あいにく私は仕事の都合で参加できませんでしたが、選手一人一人が真剣に手を合わせていたということを知り、新チームもきっと良いことがあるだろうと信じています。

翌日の豚汁会の後からいよいよ新チームがスタートしました。6年生は残りの時間で自分たちが先輩方から教えてもらったことを5年生以下の選手たちに伝承し、「翠ヶ丘野球部らしさ」を伝えていこうとしてくれていることが何よりうれしいです。その「翠ヶ丘野球部」の誇りを持って新チームとしての初の公式戦である南区大会が2月18日より始まります。今号が配布される時にはすでに組合せも決まっています。5年生にとっては実はこれからの公式戦はすべてが翠ヶ丘野球部としての「最後の大会」になります。来年の南区春季大会には現5年生は出られません。一つ一つの大会が、これからの一日一日がもう二度と戻れないという現実を受け止めて、大切にそして全力で過ごしてもらいたいと思います。

私事で恐縮ですが、夏を前に勝手な都合で監督業をお休みさせていただくこととなり、大変申し訳なく思っております。この場をお借りして謝罪申し上げます。私が不在中には現役コーチをはじめ、スタッフの皆様にご迷惑をお掛けして本当に申し訳ありませんでした。秋に私の復帰を皆様が快く受け止めていただき、最後の南区秋季大会そして駅伝大会を再び監督として戦えたことに本当に感謝しております。南区秋季大会を前に選手たちに伝えた言葉がありました。「みんなから愛されるチームになろう」です。全力で取り組んでいけば、それを見ている人たちはきっと応援してくれる。結果はどれであれ、試合が終われば惜しめない称賛を選手たちに贈ってくれる。そんなチームになってもらいたいと思い、残された時間を過ごしてきました。南区秋季大会の最後の試合で皆様からいただいた大きな応援と拍手は、これからきっと選手たちの励みになると確信できました。残された時間で新チームにもこのことを伝えたいと思っています。

正直申しまして悔いが残っていないかいうと嘘になりますが、皆様のご協力でなんとか今日まで監督を務めさせていただくことができました。本当にありがとうございました。